

投資事業評価調書(新規)

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 上野 勉 (木戸 徹)	内線	4459 (4465)
------	-----	---------------------	-----------------------	----	----------------

事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	約1.4 億円
		通常砂防事業 ちくで 築出川		内用地補償費	約0.2 億円

所在地			事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
赤穂市 塩屋 ^{しおや}			18年度	18年度	21年度

事業目的	事業内容
土石流災害対策 ・土石流危険渓流に該当し、渓岸の浸食が進んでおり土砂災害の危険性が高まっているため、えん堤工を設置して地域住民の人命、財産及び市道を保全する。	・砂防えん堤工 1基 (H = 12.0m , L = 60.0m) 〔負担割合 国:1 / 2、県:1 / 2〕

評価視点	評価結果の説明
(1)必要性 安全、安心	<ul style="list-style-type: none"> ・築出川は土石流危険渓流である。 ・渓岸の浸食が進むなど流域内も広範囲に荒廃しているが、砂防設備は未整備である。 ・流域状況は渓流勾配が約1 / 4と急で渓岸の浸食が激しく土石流発生の危険性が高い。 ・保全対象: 人家 = 24戸、公共施設 = 市道(迂回路無) 田畑 = 0.06ha
地域の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・砂防えん堤工事により土砂災害の危険性が軽減され、地域の生活道路である市道を保全することにより、地域間の交流に一層寄与する。
快適性・ゆとり	<ul style="list-style-type: none"> ・えん堤設置により土石流を止め、下流域への土砂氾濫を防止することにより、下流域の住民に安全で快適な生活空間を提供する。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・地元の土砂災害に対する認識度も高く、事業化への要望が強い。
(2)有効性・効率性 有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・人命・財産(人家24戸)及び地域の生活道路であり、上流集落の唯一のアクセス道路である市道が保全されるので、事業実施による投資効果は大きい。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・市等の協力体制が整っており、円滑な事業執行が可能である。
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業に伴う地形の改変を最小限にとどめ、工事による法面については緑化を図るなど環境保全に努める。
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> ・土石流の想定被害区域には人家24戸及び迂回路の無い市道がある。 ・流域状況は平成16年9月の台風21号により土砂が流出し、流域の荒廃が進み、今後も土砂流出の危険性が高く、塩屋地区の人命・財産等を保全するため早急な対策が必要である。